

形成外科研修プログラム

A.研修医(初期研修、2年目の選択期間6ヶ月間)

一般教育目標(GIO)

形成外科研修医は臨床医学の一旦を担うものとして、医学全体との連携を忘れずに、形成外科を対象である先天性あるいは後天性の身体外表の醜状と機能障害を外科手技、その他をもって形態解剖学的に正常あるいは美しくし、個人を社会に適合させる仕事の基礎を学ぶものとする。

行動目標(SBO)

I. 総論

1. 一般医学的能力

- ① 病歴: 現病歴(先天異常では母親の妊娠前後の各種疾患、外傷、服用薬、異常などの他、遺伝疾患、環境要因について、また外傷では事故当時の詳細が必要であり、それは災害保険や法的保証にも関係する。美容では何のため何を手術するのか、その社会的、家族的背景はどうか)、既往歴、家族歴の聴取。
- ② 診察: 患者の主訴(とくに醜状に関するものは主観的なものも多い。正確に把握する)、一般診療(対象患者は新生児から老年者までと幅広く、また頭から足趾まで広範囲にわたるため、小児科的診察、心血管系、呼吸器系、内分泌系の診察が必要で、これらを勘案して手術についての危険度を調べなければならない)、記録(術前の記録は極めて大切である。術後の説明、比較、法的保証、教育などのためである。対象を絵や文章では記録し得ないときにはカラー写真、場合によっては、X線、CT、MRI、ビデオなどが必要である)について十分会得して自ら実施。
- ③ 診断: 以上の結果を参考に診断を下し、次のような治療方針を決定し、指導者の指導の下に実施できる。a) 手術時期、b) 手術回数、手術順序、外来入院の別、c) 入院期間、d) 術後経過、e) 予測される術後成績、f) 考えられる合併症、g) 費用、h) さらに必要な検査。

2. 形成外科医として必要な一般的診療技能

- ① 次の項目については自ら実施し、判断できる。検温、血圧、注射、採血、導尿、輸血・輸液、経管栄養法・栄養管理、静脈圧測定、救急・蘇生、消毒・滅菌、身体の諸計測(身長、体重、胸囲、四肢長、顔面頭蓋の計測)、皮膚厚、鼻腔検査、形態異常、機能異常、精神疾患(精神・行動異常)、心身医学、その他。
- ② 次の検査の指示を適切に行い、その結果を解釈できる。血液・尿・便一般検査、細菌培養、塗抹染色、血液ガス分析、心電図、血液・尿生化学検査、微生物学的検査、血清学・

免疫学的検査、内分泌学的検査、腎機能検査、DQ, IQテスト、脳波、染色体、呼吸機能検査、眼底検査、鼓膜検査、内視鏡検査、筋電図、その他。

- ③ 次の検査を適切に行い、その結果(画像診断)を解釈できる。頭頸部・胸部・腹部・四肢のX線単純撮影、X線CT、MRI、超音波検査、シンチグラフィ、ファイバースコープ。

II. 各論

1. 基礎的研修事項

- ① 形成外科医として必要な麻酔、局所・伝達麻酔の技術を習得し、自ら実施することができる。そのためには麻酔薬の薬理作用、水、電解質、血液についての理解を深め、また心機能、呼吸機能、肝腎機能に知識を理解する。
- ② 形成外科手術に必要な器具 基礎的手術器具(メス、フック、剪刀、鑷子、鉗子、吸引器、電気メス、縫合材料)と特殊手術器具(採皮器具セット、顔面用器械セット、頭蓋用器械セット、鼻骨用器械セット、手外科用器械セット、マイクロサージェリー用器械セット、顕微鏡)についてその特徴、目的、使用法を理解習得し、自ら経験し活用することができる。
- ③ 形成外科に必要な基本手術手技 次の各手術手技について概念、方法、適応などを熟知し、その一部については自ら実施できる。a)皮膚表面形成術、b)縫縮術、c)Z形成術、d)W形成術、e)分割切除術、f)皮膚伸展法、g)組織移植術(遊離植皮術、採皮術、脂肪移植、真皮脂肪移植、粘膜移植、複合移植、筋肉・腱・筋膜移植、神経移植、植毛術、爪移植、骨・軟骨移植)、h)マイクロサージェリー、i)プロステーシス。

2. 各論的研修事項

次の各疾患については一般的概念を習得記憶し、一部については指導者の指導のもとに実施できる。

- ① 創傷治療
- ② 顔面外傷
- ③ 手外傷
- ④ 温熱及び薬物的原因による創傷 4
- ⑤ 電撃傷
- ⑥ 放射線皮膚障害
- ⑦ 褥創
- ⑧ 瘢痕およびケロイド

- ⑨ 先天異常
- ⑩ 皮膚腫瘍 a)皮膚良性腫瘍 b)皮膚以外口腫瘍

研修方略(LS)

1. 病棟業務

指導医の指導のもと、入院患者の担当医となり、周術期管理を行う。術前後の全身管理、術後処置に関する基本的手技を習得する。

2. 外来業務

指導医の指導のもと、身体所見の採り方から、必要な検査、そして手術の適応の決定に関わる

3. 手術業務

助手として全手術に参加し、形成外科的基本手技を習得する。

4. カンファレンス

- ① 術前カンファレンス（毎週木曜16時～）：翌週の手術について、受け持ち患者のプレゼンテーション、治療方針の決定、手術の手順についてレクチャーする
- ② リハビリカンファレンス（毎月第4火曜17:30～）：リハビリ中の受け持ち患者についてリハビリの方針や目標などについてリハビリ作業療法士と共にディスカッションする。

評価(EV=Evaluation)

1. 自己評価

EPOCおよび、自己評価表を用いて自己評価を行う。

2. 指導医による評価

EPOCを用いて評価を行う。

3. コメディカル（看護師・技師）による評価

EPOCや評価表を用いて評価を行う。

4. 研修医による評価

EPOCや評価表を用いて診療科全体(指導内容、研修環境)、プログラム内容の評価する。